

令和7年度 浜松市立和地小学校

第1回 学校運営協議会

令和7年5月15日(木)

13時30分～15時30分

相談室

司会：教頭

※初めに5校時の授業を参観し、子供たちの様子を御覧いただきます。

- 1 校長挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 浜松市教育委員会より
 - ・新委員任命
- 4 議長選出（順番により宇津山さん）
- 5 熟議（進行：議長）
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - (2) 今年度の取組について
 - ・和地っ子応援団の活動について
 - ・情報発信について
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
 - (4) その他
 - ・本年度協議会の目標について
- 6 連絡
 - ・写真について

○ 和地小学校運営協議会組織

委員一覧

会長	宇津山 茂
委員	松木 和見
副会長	田中 恵子
委員	牧田 眞喜夫
委員	岡井 保
委員	牧田 正稔
委員	浦岡 紀子
委員	鈴木 裕美
委員	加茂 孝啓
委員	高塚 歩美

学校職員

校 長	青島 秀典
教 頭	櫻井 利幸
主幹教諭・CS担当	野中 信彰
CSディレクター	石野 恵実

○ 本年度の協議会計画

第1回	令和7年5月15日(木) 13:30~15:30
第2回	令和7年7月4日(金) 13:30~15:30
第3回	令和7年10月8日(水) 14:30~16:30
第4回	令和8年2月18日(水) 13:30~15:30

※いずれも5校時の参観後の開始になります。

第3回はクラブ参観になります。

令和7年度 浜松市立和地小学校グランドデザイン

第4次浜松市教育総合計画

目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 他者と協働し、主体的に行動できる子供
- 自己調整しながら粘り強く取り組む子供

校訓
和

学校教育目標

自ら考え 高め合う

目指す子供像

- 自己調整しながら、主体的に、不得意なことでも粘り強く取り組む
〈キーワード：主体性〉
- 自分とは異なる意見を尊重し、視野を広げ、理解を深めることができる
〈キーワード：多様性、協働〉

湖東中学校区目指す子供の姿

意欲をもって学び続ける子

- 幼小中生き生き人づくり
～自己有用感を高める活動～
- 学びの充実（キャリア教育）
- 育ちの充実
- 幼小中交流活動

学年・学級目標(学年・学級経営)

合言葉「わじっこ」におけるつきたい力

わくわく(徳)

- 自分で正しく判断する力を発揮し、場に応じた言動をとることができる
- 自分や友達の良さに気付き違いを認め合うことができる

＜具体的取組＞

- 挨拶運動を継続的にを行い、全児童に広めていく
- 「和地っ子の生活のきまり」の意味、必要性を折に触れて考えさせ、自律的に行動できるように指導する
- 心理的安全性のある学級経営により、安心・安全な居場所作りに努める
(話しやすさ、助け合いの気持ち、挑戦、新奇歓迎)
- いじめ見逃しゼロを目指し、組織的な対応に努める
- 学校行事・特別活動等で、めあてを持って取り組ませる

じゅくり(知)

- 問いや課題、目標を持ち主体的に学ぶことができる
- 共に学ぶ良さを感じながら高め合うことができる

＜具体的取組＞

- 個別最適な学びを意識した授業展開を積極的に行き入れる
- 協働的な学びを意識した授業展開を積極的に行き入れる
- 問い、課題、目標を持たせる単元構想の工夫をする
- タブレット端末を段階的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る
- 外部の講師、地域の学習素材を活用する
- 取り出し授業、入り込み指導を充実させる

こつこつ(体)

- 基本的な生活習慣を身に付け健康的で安全な生活をする
- 目標に向かって主体的に取り組む高め合うことができる

＜具体的取組＞

- けがや事故なく生活できるよう指導する
- 給食指導を計画に基づいて行う
- 清潔な生活ができるよう指導する
- 外遊びを推奨する
- 防災や防犯への意識を高めるために定期的な訓練を行い、危機回避意識を育成する
- 健康安全・体育的行事にめあてを持って取り組ませる

持続可能なキャリア教育の実践

社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる

情報共有を大切にし「いねい・あったか・あんしん」をコンセプトとした積極的な発達支持的生徒指導をチームで推進する

- 自己有用感と他者に対する受容的・共感的な関わり
- 「学校いじめ防止基本方針」に沿った対応
- OSC、SSWとの積極的な連携

- 保護者(参観会や教育相談の充実、わこう連絡会、ブログやさくら連絡網を活用した積極的な情報提供)
- 地域(CS、和地っ子応援団等の支援体制の充実)
- 関係機関(医療・行政機関との連携)

- 友達を大切にして、みんなと仲良くします
- あいさつで人と人との絆を結びます
- 自分から進んで、いろいろなことにチャレンジします
- 安全と健康に気を付けて大切な命を守ります
- 自分たちの住んでいる地域を大切にします

和地っ子宣言 和の心

発達支持的・積極的な生徒指導

保護者、地域、関係機関との連携

令和7年度 浜松市立和地小学校経営方針

押さえておくべき教育施策

①令和3年1月『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現を目指した授業の取組が始まっている。特に、2つの学びを往還させるためのツールとしての1人1台端末の活用も様々な工夫がなされ、授業の在り方が大きく変わろうとしている。

②令和4年12月『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～

教員の新たな研修制度に関わるもので、免許更新制の廃止に伴い、研修の個別最適化を実現するための仕組み作り。教員の研修制度が大きく変わってきている。

③令和5年3月「次期教育振興基本計画について」

次期教育振興基本計画については、令和5年6月に閣議決定され、第4期教育振興基本計画として示されている。国の教育振興基本計画は教育基本法にその作成義務が示され、今後5年間の国や地方教育行政の指針となる。各自治体が定める教育振興基本計画等の中長期計画も、この計画に基づいて作成されている。第4期教育振興基本計画のコンセプトは、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」。特に、子供たちと教職員のウェルビーイングの向上は、学校運営のキーワードになっている。

④令和5年4月「こども基本法」

こども基本法では、子供たちの意見表明の場を作ることが大人の義務として示されている。

⑤令和5年5月『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について」

学校における働き方改革、教員採用選考の低倍率化、人材不足等々の問題を総合的に審議。

⑥令和6年7月「第1回 第4次浜松市教育総合計画策定委員会（浜松市教育委員会）」

○目指す子供の姿

- 自分らしさを大切にする子供
- 他者と協働し、主体的に行動できる子供
- 自己調整※しながら粘り強く取り組む子供

※子供自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定していく

★目指す教職員の姿

- ★子供の自分らしさを受け止める教職員
- ★愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- ★専門性と指導力を磨き続ける教職員

○キーワード

①主体性 ②多様性・包摂性 ③信頼・協働

○3つの方針と5つの政策

方針1「自分や浜松の未来を創る人づくり」

政策①「未来の創り手に求められる力の育成」

政策②「多様なニーズに対応した学びや支援の充実」

方針2「安全・安心で魅力ある環境づくり」

政策③「浜松の先生の魅力と資質能力の向上」

政策④「安全安心に学べるより良い教育環境の整備」

方針3「子供の学びや育ちを支える連携・協働」

政策⑤「多様な人材・主体との連携・協働」

○「教育の情報化」は、3つの方針全てに「教育DX推進」「教育データ利活用」が関わる

学校経営構想

①地域・学校・児童の実態（明治7年創立152年目）

□浜名湖に面し、川や里山等の豊かな自然に恵まれた地域である。東名高速道路や浜松環状線、舘山寺街道等があり、交通量も多い。

□学区は、古くからの和地町、湖東町、大山町、和光町、湖東西に加えて、湖東団地、桜台の自治会から成り立つ。団地開発の影響で、昭和58年には児童数1076名、平成27年には児童数998名という大規模校であったが、以降減少し、令和7年度は507名（令和6年度比-35名）の見込みである。

□令和6年度に、創立150周年記念式典を開催、令和7年度に創立152年目を迎える歴史と伝統のある学校である。令和4年度には、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置、熱心な協議会委員の方々を中心に、学校支援の具体が推進されてきている。

○低学年の面倒を見たり、男女共に仲が良かったり、素直で優しい児童が多い。

○言われたことには良く取り組むが、主体的な判断や行動には課題がある。

○苦しいことや、困難にぶつかった時に粘り強く取り組んだり、新しいことに失敗を恐れずに挑戦したりして、自分の力で道を切り開こうとするたくましさに欠ける児童が見られる。

○児童養護施設「わこう」から通学する児童や、発達支援的配慮、個別の学習支援、家庭的環境配慮等が必要な児童が増加している。対人関係の中で傷付きやすい児童も見られ、集団に入れない児童、不登校傾向児童も散見される。

②湖東中学校区の目指す子供像

意欲をもって 学び続ける子

③校訓

和

“人とつながる 人を大切にする 人と高め合う”

“仲間を信じて 自分を信じて”

④学校教育目標

自ら考え 高め合う (令和3年度より5年目)

「自ら考え」…自己調整※しながら、主体的に、不得意なことでも粘り強く取り組む

※子供自身が目標を立て、自分の行動を振り返り、評価しながら次の行動を決定していく

「高め合う」…自分とは異なる意見を尊重し、視野を広げ、理解を深めることができる

〈参考〉

▲「自ら考え」…指示されないと取り組めない

活動の目的が理解できていない

根気強く取り組むことができず、すぐに諦めてしまう

▲「高め合う」…友達の見解を認める姿勢に欠ける

自分の考えに固執する

考えの広がり、深まりが見られない

重点目標

合言葉 「わ じっ こ」の育成

◆「わ じっ こ」の「わ」…「わくわく (徳)」

「わくわく (徳)」における自ら考える子供の姿

○自分で正しく判断する力を発揮し、場に応じた言動をとることができる

「わくわく (徳)」における高め合う子供の姿

○自分や友達の良さに気づき違いを認め合うことができる

＜具体的取組＞

○挨拶運動を継続的に行い、全校児童に広めていく

○「和地っ子の生活のきまり」の意味、必要性を折に触れて考えさせ、自律的に行動できるように指導する

○心理的安全性※のある学級経営により、安心・安全な居場所作りに努める

※話しやすさ、助け合いの気持ち、挑戦、新奇歓迎

○いじめ見逃しゼロを目指し、組織的な対応に努める

○学校行事・特別活動等で、めあてを持って取り組ませる

◆「わ じっ こ」の「じっ」…「じっくり (知)」

「じっくり (知)」における自ら考える子供の姿

○問いや課題、目標を持ち主体的に学ぶことができる

「じっくり (知)」における高め合う子供の姿

○共に学ぶ良さを感じながら高め合うことができる

＜具体的取組＞

○個別最適な学びを意識した授業展開を積極的に取り入れる

○協働的な学びを意識した授業展開を積極的に取り入れる

○問い、課題、目標を持たせる単元構想の工夫をする

- タブレット端末を段階的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る
- 外部の講師、地域の学習素材を活用する
- 取り出し授業、入り込み指導を充実させる

◆「わじっこ」の「こ」…「こつこつ（体）」

「こつこつ（体）」における自ら考える子供の姿

- 基本的な生活習慣を身に付け健康的で安全な生活をすることができる

「こつこつ（体）」における高め合う子供の姿

- 目標に向かって主体的に取り組み高め合うことができる

＜具体的取組＞

- けがや事故なく生活できるよう指導する
- 給食指導を計画に基づいて行う
- 清潔な生活ができるよう指導する
- 外遊びを推奨する
- 防災や防犯への意識を高めるために定期的な訓練を行い、危機回避意識を育成する
- 健康安全・体育的行事にめあてを持って取り組ませる

⑤学校経営の基盤

発達支持的・積極的生徒指導

情報共有を大切にする

コンセプトは「ていねい」「あったか」「あんしん」

積極的な発達支持的生徒指導をチームで推進する

- ・自己有用感と他者に対する受容的・共感的な関わり
- ・「学校いじめ防止基本方針」に沿った対応
- ・SC、SSW との積極的な連携

保護者、地域、関係機関との連携

- ・保護者とのつながり …参観会や教育相談の充実、わこう連絡会、ブログやさくら連絡網を活用した積極的な情報提供
- ・地域とのつながり …CS、和地っ子応援団等の支援体制の充実
- ・関係機関とのつながり…医療、行政機関との連携

和地っ子宣言 和の心（令和5年度 児童運営委員会を中心に子供たちが策定）

- ・友達を大切にして、みんなと仲良くします
- ・あいさつで人と人との絆を結びます
- ・自分から進んで、いろいろなことにチャレンジします
- ・安全と健康に気を付けて、大切な命を守ります
- ・自分たちの住んでいる地域を大切にします

経営課題に対する基準

- ①子供たちの生命と人権を守る
- ②授業力向上を図る
- ③地域の信頼を得る

目指したい学校（大切にしていきたいと考えていること）

①子供たちのウェルビーイングを高めるために、教職員のウェルビーイングを確保する学校

子供のウェルビーイングは、教職員のウェルビーイングなくして成立しえない、という知見に依拠し、教師のウェルビーイングを確保し、心身共に健康な状態を持続できるようにしたい。そのために、

- ・子供、保護者、同僚との関係構築に努め、働きやすさ、働き甲斐のある職場作り
- ・教員の自由裁量の確保によりエンゲージメント（業務に対するポジティブで充実した状態）を向上
- ・心理的安全性（「話しやすさ」「助け合いの気持ち」「挑戦」「新奇歓迎」）の担保
スローガン「何を言っても大丈夫」「困った時はお互い様」「まずはやってみよう」「異能どんとこい」
- ・良好な労働環境

を重視したい。先生が働きたい、子供が毎日行きたいと思える学校を目指したい。

②「未来への投資」の視点を持つ学校

「年度（学期）のスタートに基本的な学習習慣の徹底を図ることにより、1年間（1学期間）の学習活動を充実させる」、「年度当初の家庭訪問での保護者との人間関係構築により、1年間の教育活動を円滑に推進する」、「学年の風通しを良くすることで、様々な課題に対して組織で対応する」等々、ひと手間掛けることによる、この先の学級経営、授業の充実、家庭との連携、組織体制の確立に繋がる取組を大切に実行していきたい。

③ルールを共有する学校

言わなくても分かってもらえるだろう、察してくれるだろうといった感情のすれ違いを防止するために、全員が意識したいルールを共有しておきたい。

④ヒューマンエラー（人為的ミス）に組織やチームで対応する学校

ヒューマンエラーが生じた時には、原因はAさんにある、といったように原因を個人の過失や、資質、能力のみに帰着、属人化させるのではなく、Aさんがこういう行動をとってしまったことにも原因があるはずであるという見方をするようにしたい。エラーの再発防止のために、組織体制に見直すべき点はないか、システムに手を加えるべき点はないか、という見方をしていきたい。

(様式1)

令和 7年 5月15日

浜松市立和地小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 加茂 孝啓 様

浜松市立和地小学校運営協議会
会長 宇津山 茂

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年5月15日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 社会に開かれた教育課程とするため、地域や保護者の方々と連携し、地域の歴史や文化を学ぶ機会があるとよい。
⇒総合的な学習の時間に、郷土の歴史に詳しい講師に招き講演をしていただく。
- ② 子供たちは地域ぐるみで育てることが大切である。学校での教育活動に地域の人材が活用できるとよい。
⇒地域の方に講師やボランティアを依頼し「クラブ活動」「読み聞かせ」「合唱」「地域学習」などの活動に取り組む。

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（和地小）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

子供たちが安全に安心して生活するための取組について熟議をすすめていきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校教育目標や「わくわく」「じっくり」「こつこつ」の重点について、校長から説明を受け、委員全員で共有することができた。また、昨年度150周年を記念して子供たちと策定した「和地っ子宣言」を教育活動の随所で活用することを話し合った。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

前年までの取組を踏まえ、学校教育活動の充実についてニーズに沿った熟議を行うことができた。その結果、発足したばかりの和地っ子応援団の支援活動が軌道に乗り、講座やクラブ活動の講師、安全見守り、学習補助などの充実につながった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

協議会での協議結果は、学校ホームページで資料や会議録を掲載したり、ブログで子供たちの学習活動と共に和地っ子応援団について紹介したりしている。和地っ子応援団の活動を通して、協力者も増えてきているので、保護者に少しずつ周知が広がってきていると感じるが、まだ十分であるとは言えない。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

来年度は2期目に入るため、新委員と共に、子供たちが、より安全に安心して生活し、学びが深まる学校になっていくための熟議を行う。また実際に担任している学校職員も協議会に参加してもらい、より充実した支援活動にしていく。

コミュニティ・スクール 活動保険について

(令和7年度)

- ◎**傷害保険**…学校支援CD、学校支援ボランティア、放課後・土曜学習活動参加者（児童含む）活動中に生じた事故により、負傷等した場合に補償される保険です。
 （熱中症、低体温症、脱水症、（放課後・土曜学習参加者のみ食中毒）を含む）
 ※自宅から活動場所（学校外も対象）までの往復に起きた事故を含みます。

- ◎**賠償責任保険**…学校支援CD、学校支援ボランティア、放課後・土曜学習ボランティア活動中に生じた事故により、他人にけがを負わせてしまったり、物を壊してしまったりし、損害賠償責任を負った場合に補償される保険です。
 ※自宅から活動場所までの往復に起きた事故は含みません。

	傷害保険	賠償責任保険
補償内容 ※学校支援CDは○内	・死亡、後遺障害 500万円（1,000万円） ・入院日額 7,500円（1万円） ・通院日額 5,000円（5,000円）	・1事故 3億円 ※対人、対物
事故例	・学校の階段から転落し、骨折のため通院した。 ・校外学習に付き添う中で、熱中症になり入院した。 ・学校へ向かう途中に事故にあい、負傷したため手術をした。	・指導中、誤って子供にけがを負わせてしまった。 ・ボランティアの作業で台車を運搬中、駐車場の車にぶつかり傷をつけてしまった。
対象とならないもの （主なもの）	・故意または重大な過失による事故 ・腰痛など、外的に要因が確認できないもの ・脳疾患などの疾病 など	・故意によって生じた賠償責任 ・天災に起因する賠償責任 など

- ・保険の適用を受けるにあたり、保険の対象者（ボランティア等）の名簿の提出を求められる場合があります。教育委員会へ提出の必要はありませんが、各校で参加者の把握、名簿の作成をお願いします（活動・イベントごとの名簿でも可、様式は任意）。
- ・PTA活動や、市教委から派遣される職員等、他の保険の適用範囲となるものは対象となりません。活動内容が保険の対象となるか不明な場合は、活動前に教育総務課まで御相談ください。
- ・万が一、事故等が起きた場合は、速やかに教育総務課まで御連絡ください。

対象者別の保険案内をT-portに格納しています。
 説明会等にて御利用ください。
 >10 教育総務課（共通）
 >05-01 コミュニティ・スクール
 >14 保険